



2019年8月13日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。トランプ米国大統領の追加関税表明に対する中国の人民元切り下げや、それにとまなう中国の為替操作国認定、トランプ米国大統領が9月の中国との会談をキャンセルするかもしれないと発言したことなどで、世界的にリスク回避の動きが進み、新興国通貨全般が売られブラジル・レアルも下落しました。

経済指標に関しては、6月の小売売上高や7月のIPCAインフレ率などが発表されました。小売売上高、IPCAインフレ率ともに市場予想を下回り、IPCAインフレ率は前年比+3.22%に低下しました。足元のブラジル経済の状況から9月に政策金利がさらに0.5%引き下げられるとの予想が出てきており、経済状況、中央銀行の動きに注目したいと思います。

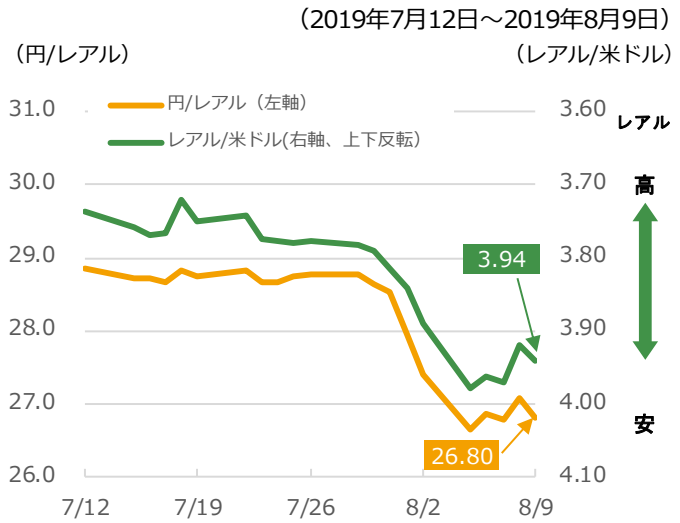
今週の見通し

今週は経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。

先週、第二回下院本議会投票が行われ年金改革法案は賛成多数で承認され、上院での審議に進みました。また、税制改革案についても近日中に発表される予定で、ブラジルの構造改革は着実に進んでいるとみています。

足元、リスク回避の動きからブラジル・レアルは売られています。ブラジルの構造改革が評価されれば、買い戻される展開がくるとみています。

ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。